

第47期（2024年3月期） 第3四半期決算補足資料



STANDARD
TOKYO

アズマハウス株式会社

2024年2月14日

会社概要

会社名	アズマハウス株式会社
英訳名	AZUMA HOUSE Co., Ltd.
設立	1977年（昭和52年）5月2日
代表者	代表取締役社長 東 行男
本社所在地	和歌山県和歌山市黒田一丁目2番17号
従業員数	202名（連結303名）
資本金	5億9,676万円
取引所	東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：3293）
株主数	2,786名（2023年9月30日現在） 発行済株式数 8,063,400株（2023年9月30日現在）
単元株数	100株 基準日 3月31日・9月30日
事業内容	不動産業、不動産賃貸業、建設業、ホテル業、飲食業、保険代理店業
連結会社	株式会社賃貸住宅センター、株式会社シージェーシー管理センター、株式会社アイワライフネット、こうこく不動産株式会社



社長挨拶（トップコメント）

令和6年能登半島地震により被害に遭われた皆さまに心からお見舞いを申し上げます。そして、ご家族や大切な方々を亡くされた皆さまへ、謹んでお悔みを申し上げます。

当社グループにおける第47期（2024年3月期）第3四半期（2023年10月1日から2023年12月31日）の業績は、前年同期と比較して減収減益となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、物価高の影響により資材原価は総じて高い水準にあり、労務費についても一部の職種に上昇の傾向もあり、今後の動向を注視しております。また、為替相場においても円安傾向のまま停滞している状況が続いております。住宅市場においても、建材費などの原価は高止まりの状況ではございますが、消費マインドは少しずつではございますが回復しつつあるもの不透明な状況は続いておりますが、当社グループにおいては、商品の性能・品質に加え、快適性や利便性などの付加価値を追加することで消費マインドを刺激し、事業の回復に努めてまいりました。

そのような中、当社グループは、不動産販売・不動産賃貸・土地有効活用・建設などの総合不動産会社であるメリットを最大限に活かし、セグメント間のシナジー効果の強化を図ってまいりました。各セグメント及びセグメント間で効果的な計画を立て、既成概念にとらわれない販売戦略を速やかに実行し、強力に推進することで、素早くお客様ニーズにお応えすることとしてまいりました。引き続き、お客様サービスの向上、顧客満足度の向上を真摯に考え、スピーディーに、そして、ダイナミックに展開することとしてまいります。また、DXの推進に伴い、様々な情報を共有し、活用することで、全従業員が一丸となって業績の向上に努めてまいります。

当社グループは、昨年12月に株式上場（東京証券取引所スタンダード市場（旧ジャスダック市場））10周年を迎えることができました。お客様をはじめとする取引業者様並びに株主の皆様のご支援の賜物であると深く感謝し、心より厚く御礼申し上げます。

これからも「お客様満足度ナンバーワン企業」を目指し、挑戦し続ける企業でありたいと考えております。また、変化していく社会のなかで、お客様ニーズを的確に捉え、お客様、地域の皆様から永く愛され続ける企業として、従業員一同、誠心誠意努力してまいりますので、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



アズマハウスは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

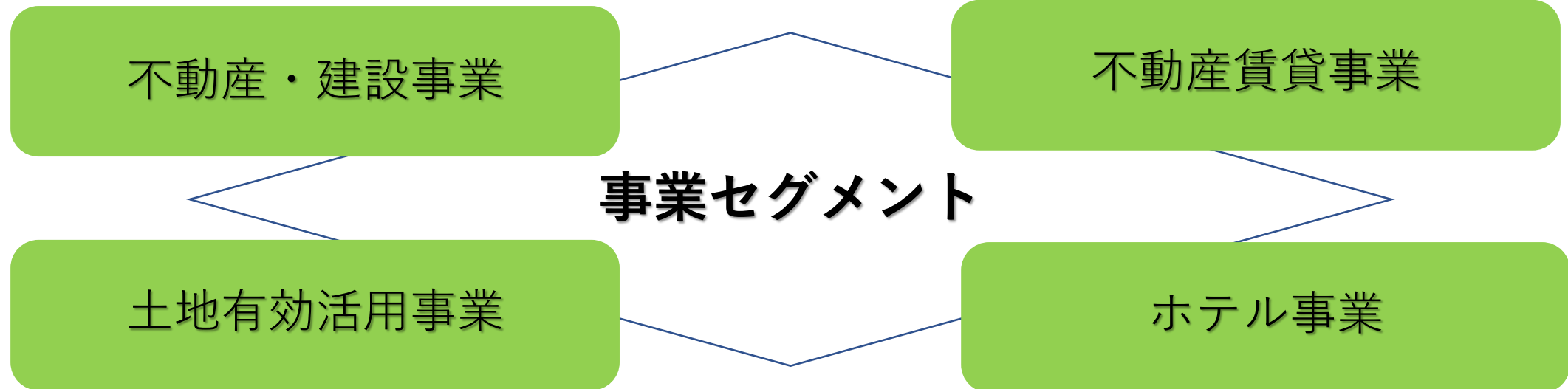
事業概要

～経営理念～

私たちアズマハウスは、全ての分野において「より大切に、より迅速に、すべてはお客様のために」をモットーに、商品の品質・性能・お客様への対応・サービスの向上は無限と考え、徹底してこだわり、お客様満足を徹底的に追及していく所存であります。

～サステナビリティ基本方針～

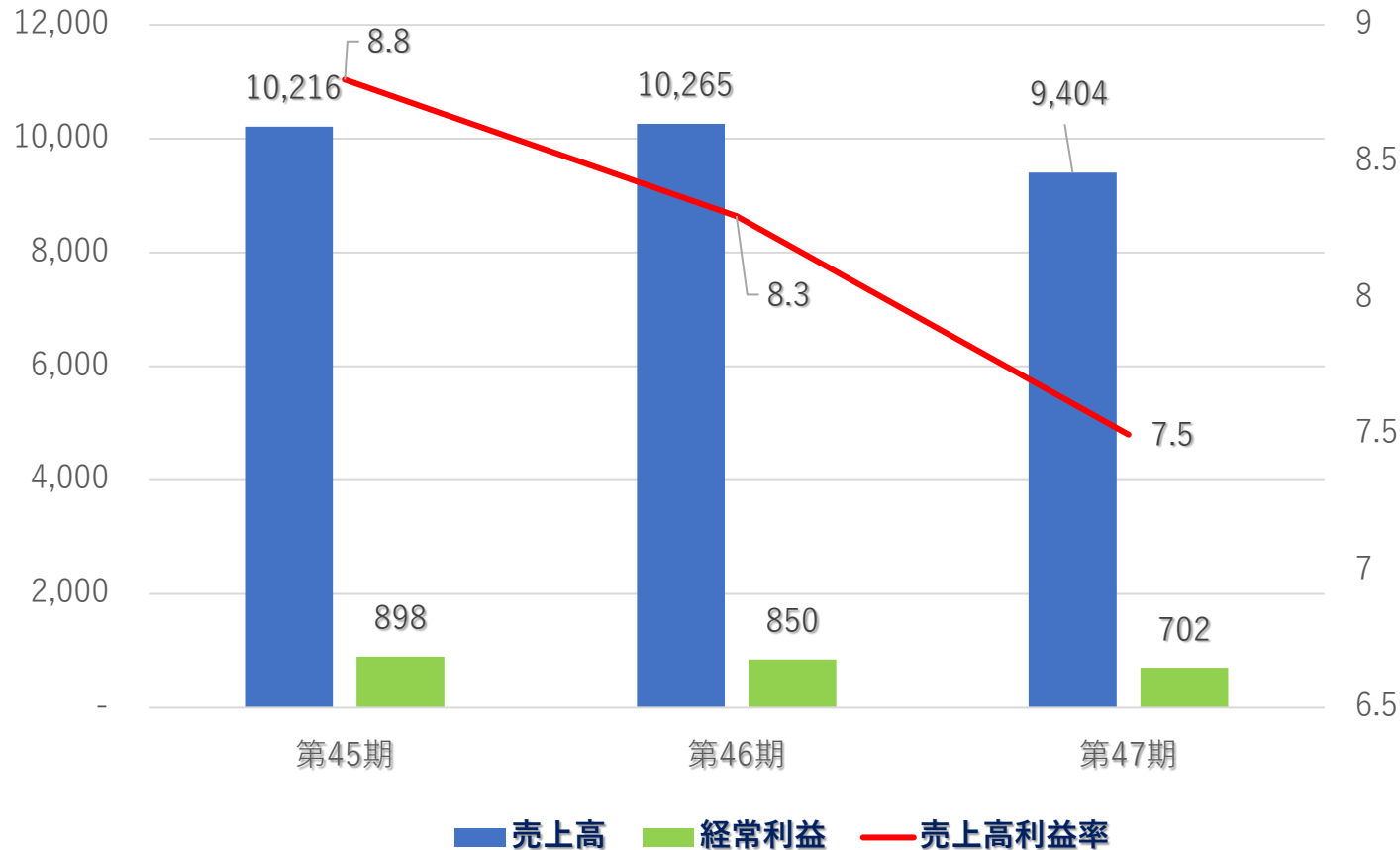
「人も環境も健康に」



連結決算（サマリー）

売上高・経常利益・売上高利益率の推移

（単位：百万円）



第47期売上目標 13,330百万円

第47期経常利益目標 1,070百万円

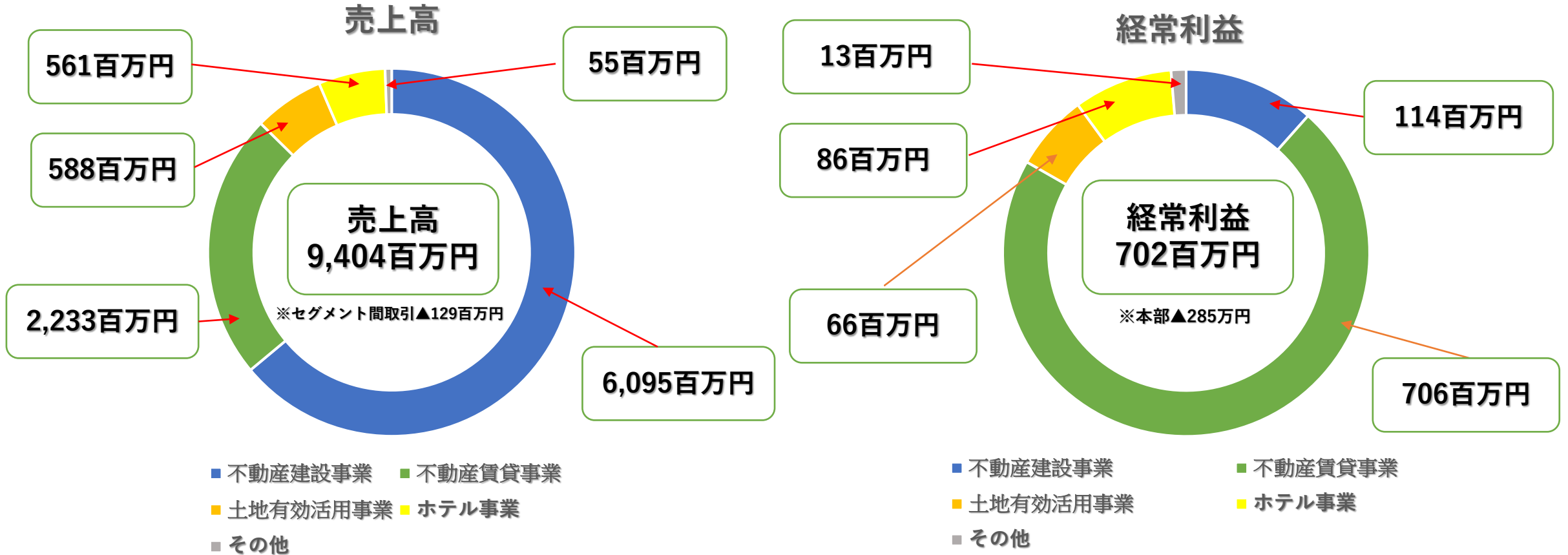
売上高 9,404百万円
(予算比99.5%)

経常利益 702百万円
(予算比100.2%)

売上利益率 7.5%
(目標8.0%)

連結決算（セグメント比）

※セグメント売上及び利益は、セグメント間取引を含んでいます。

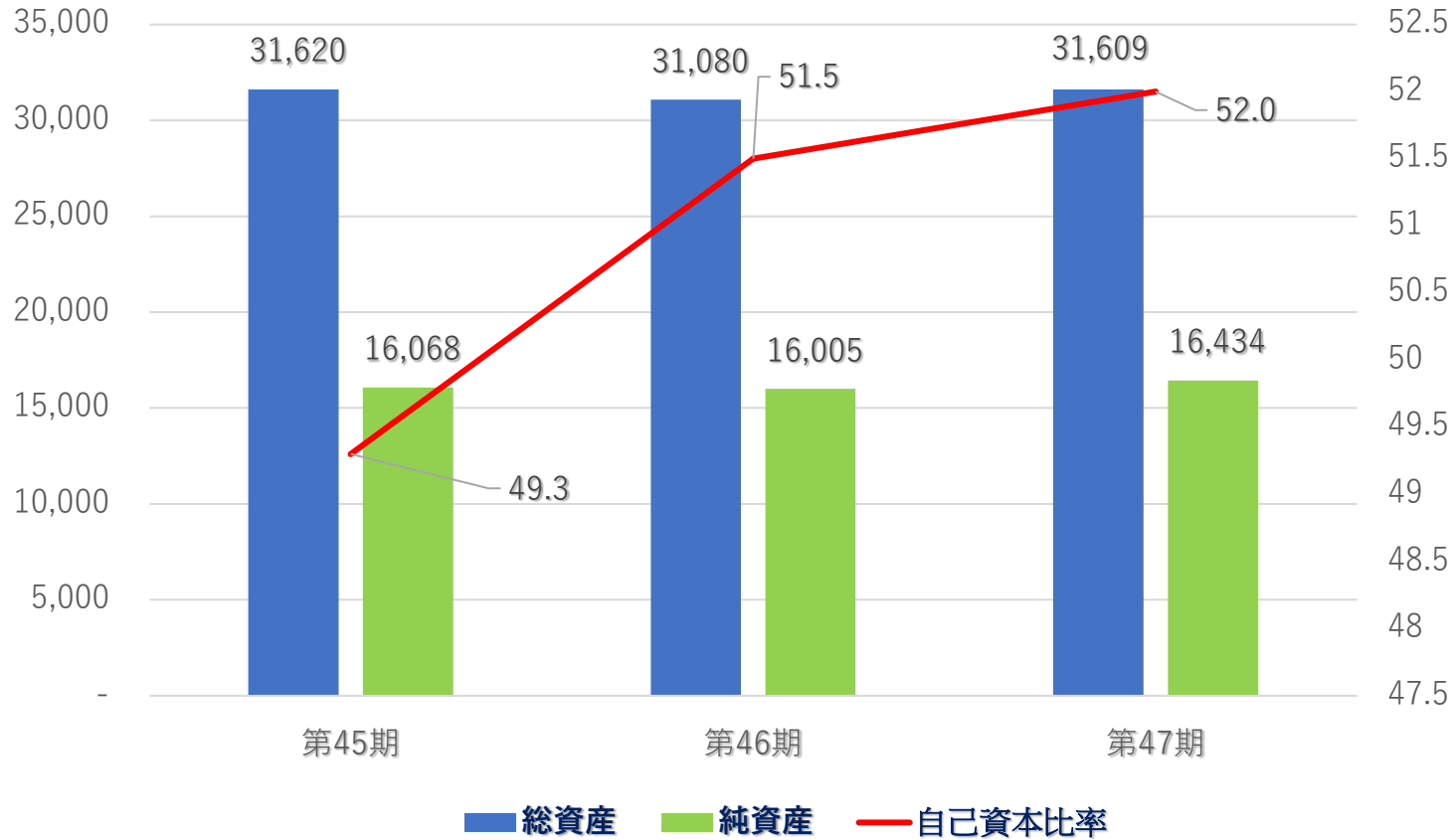


※本部は、セグメントに帰属しない人件費及び管理部門の一般管理費です。

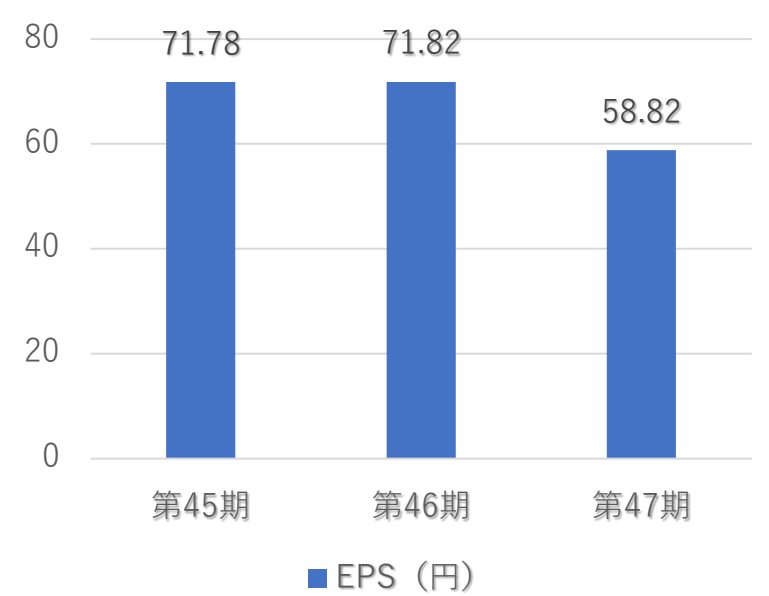
連結決算（サマリー）

総資産・純資産・自己資本比率の推移

（単位：百万円）

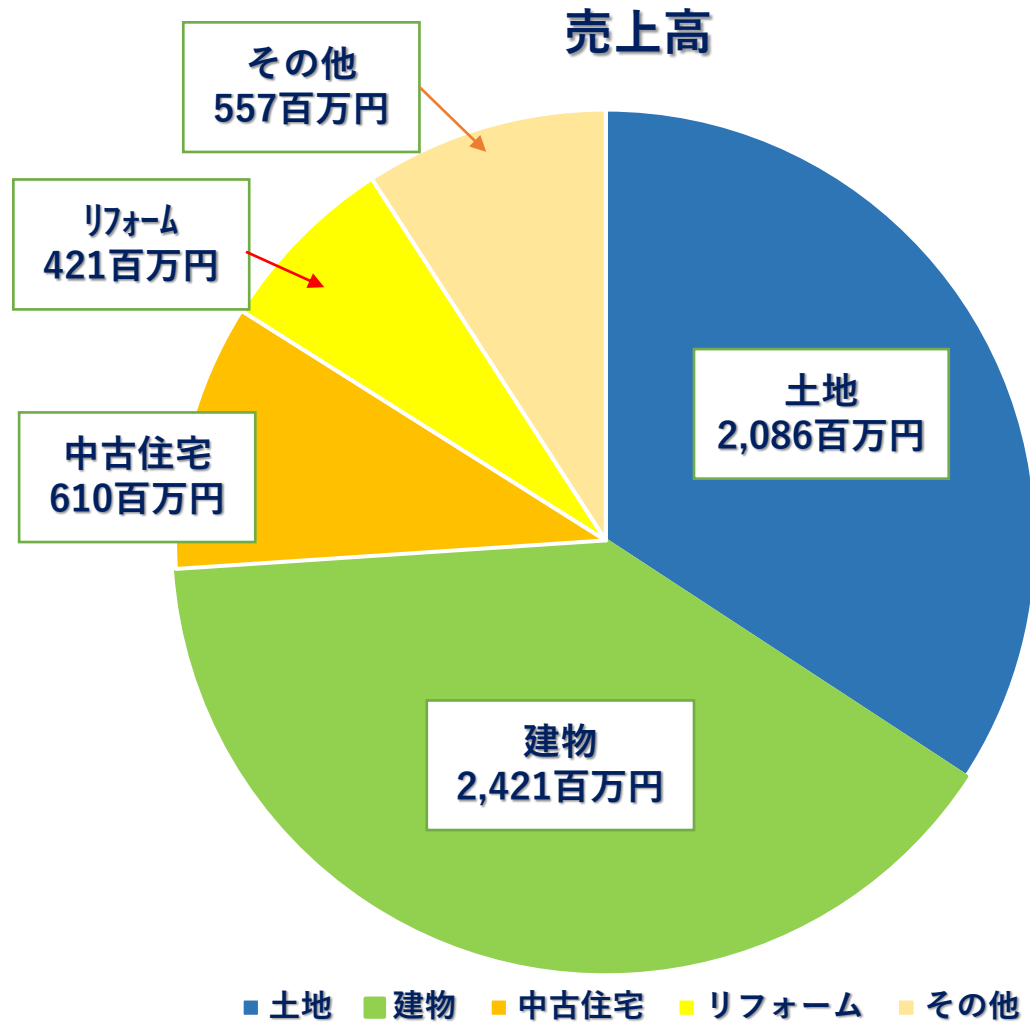


1株当たりの純利益（EPS）



当社は、2022年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。

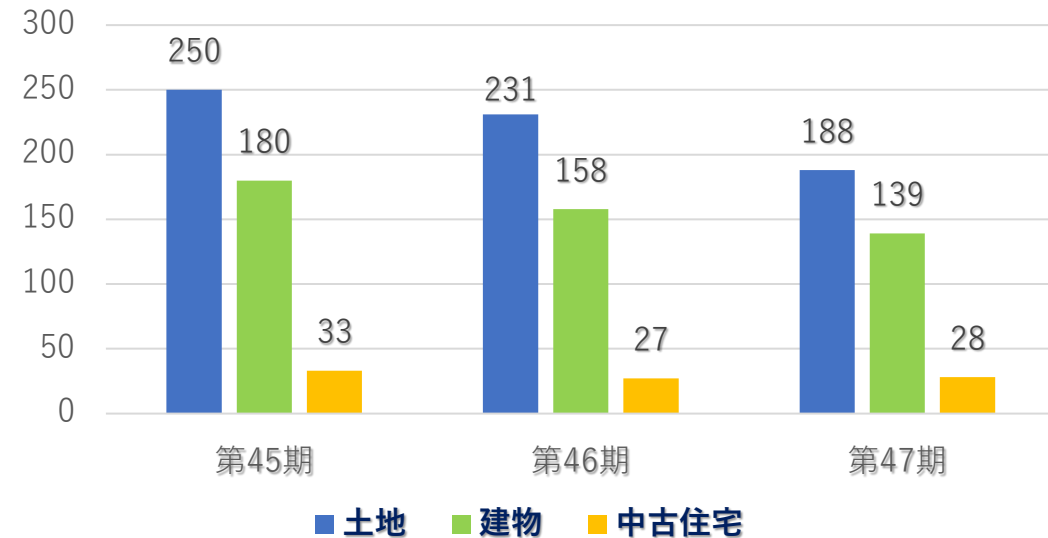
セグメント別実績（不動産・建設事業）



セグメント売上高 6,095百万円
 (前年同期比86.9% : 予算比98.3%)

セグメント利益 114百万円
 (前年同期比 37.5% : 予算比63.3%)

売上件数推移

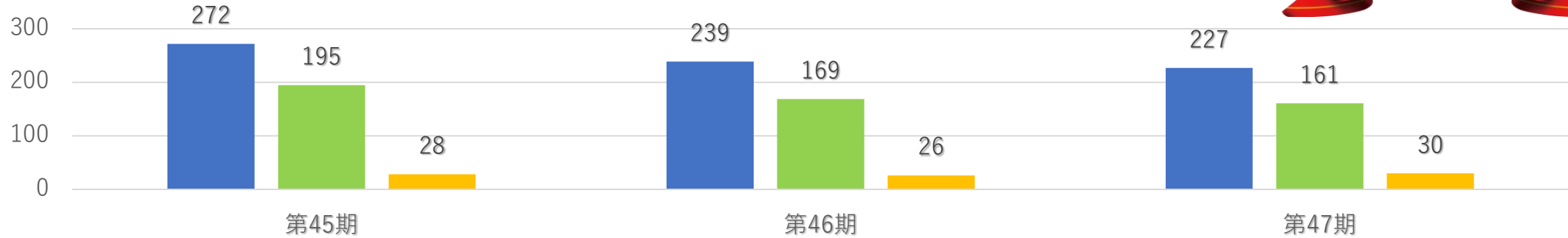


セグメント別実績（不動産・建設事業）

受注件数・受注残件数推移

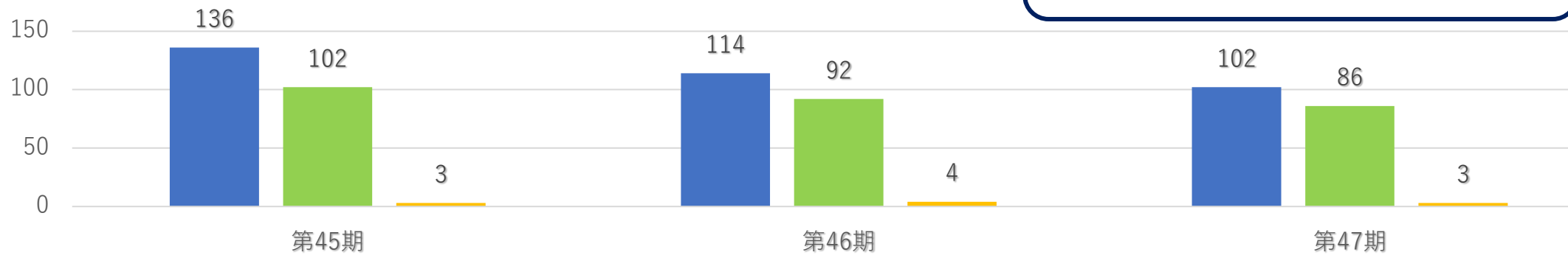


受注件数の推移



■ 土地 ■ 建物 ■ 中古住宅

受注残件数の推移

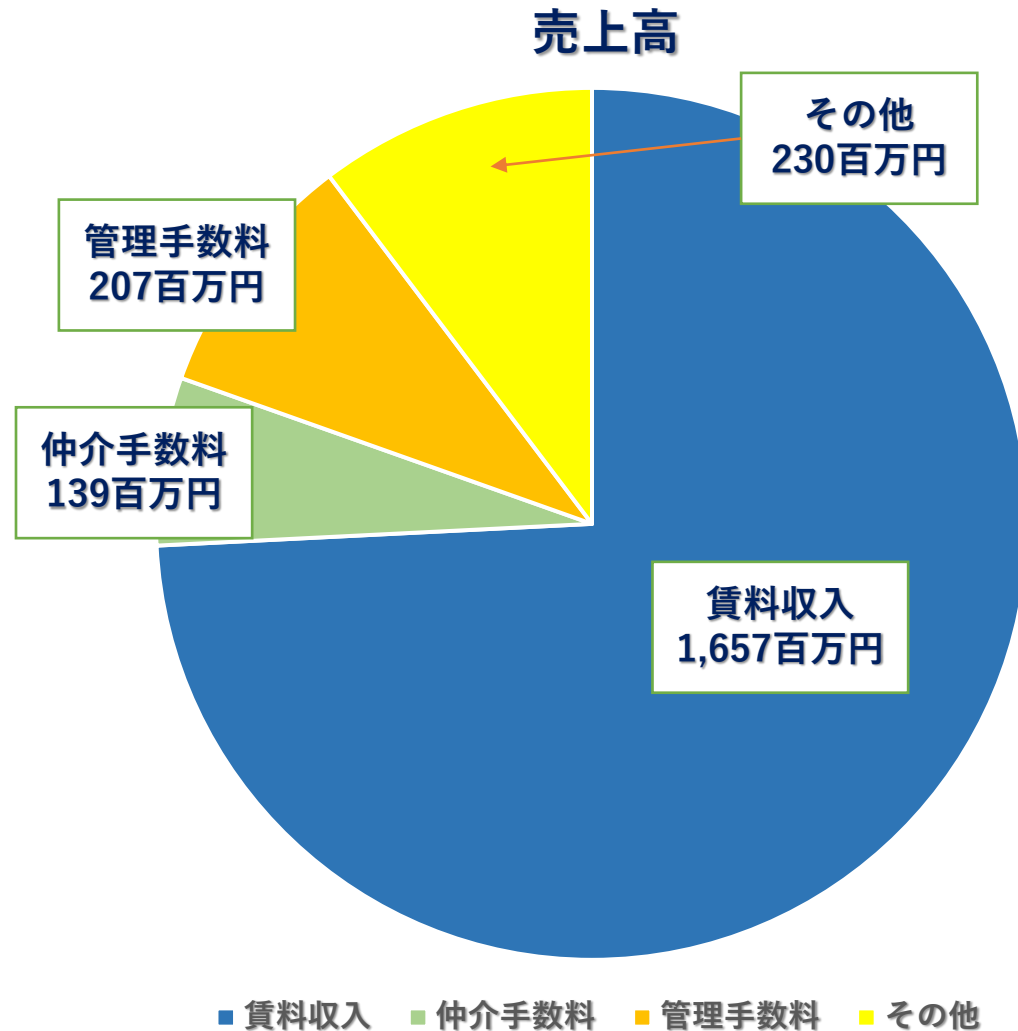


■ 土地 ■ 建物 ■ 中古住宅

受注残額は、前年比86.4%

セグメント別実績（不動産賃貸事業）

自社入居率 94.86%



セグメント売上高 2,233百万円
 (前年同期比103.4% : 予算比100.5%)

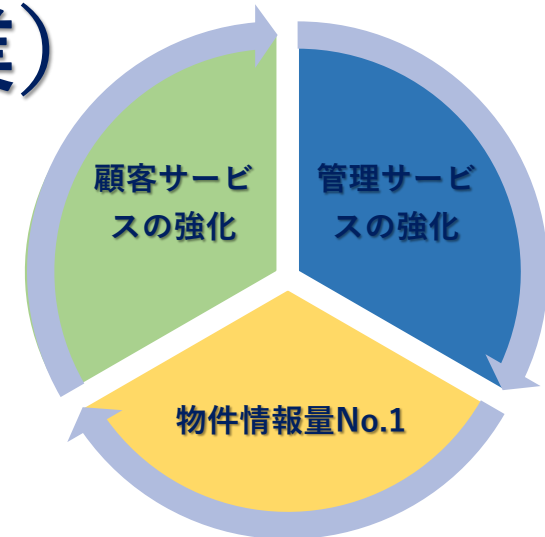
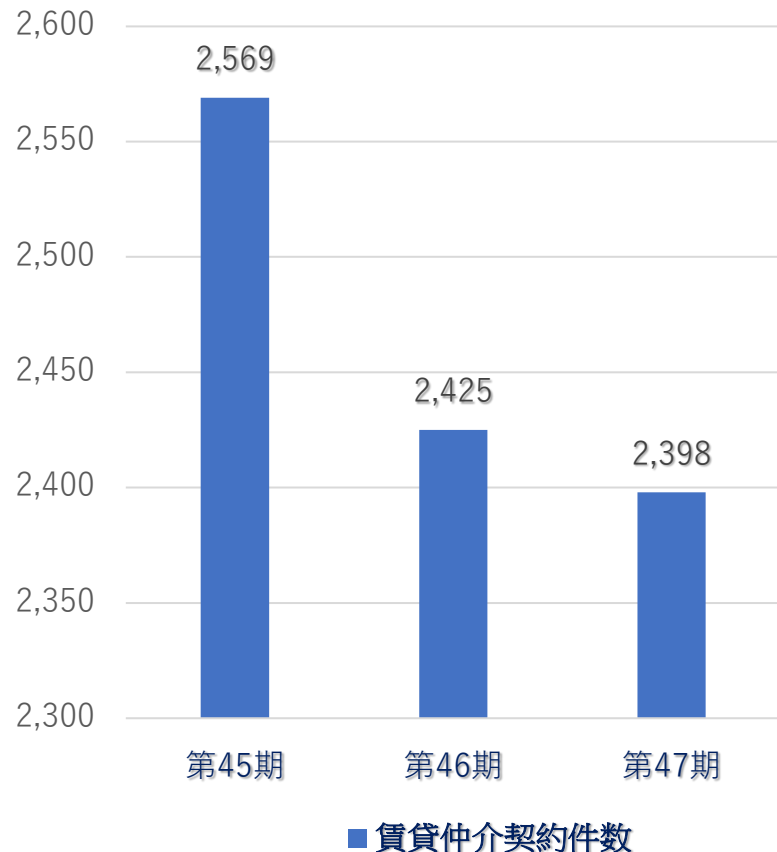
セグメント利益 706百万円
 (前年同期比100.9% : 予算比100.8%)

自社戸数及び管理戸数の推移



セグメント別実績（不動産賃貸事業）

賃貸仲介契約件数の推移



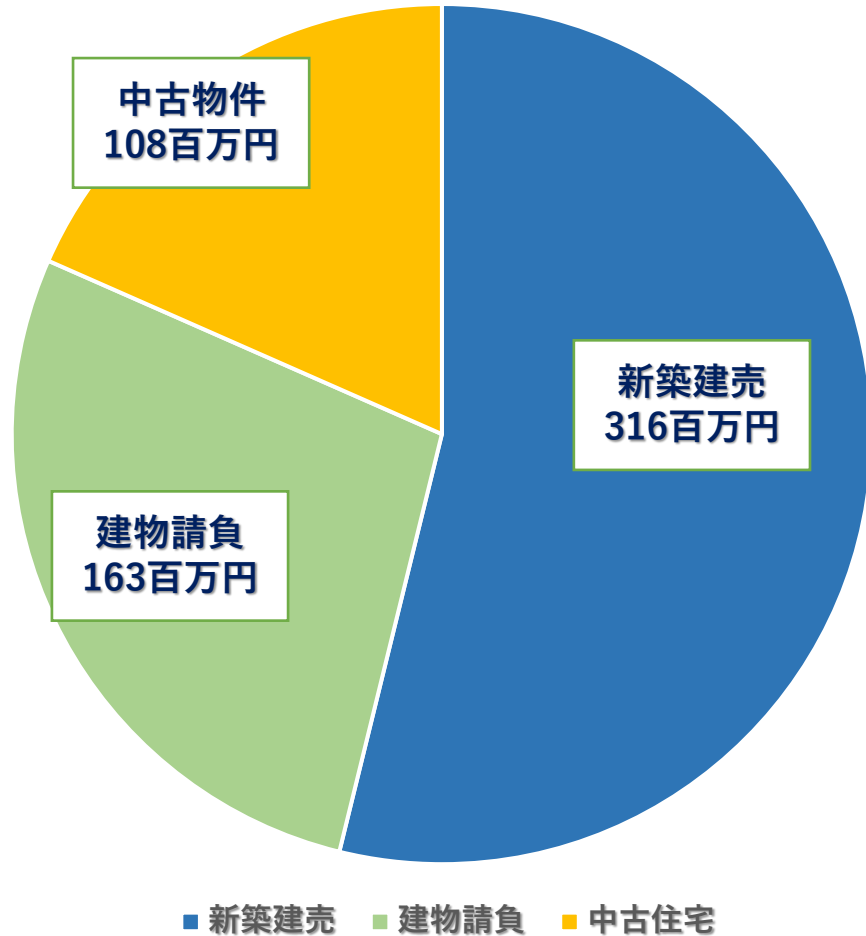
管理物件入居率
85.2%

Alliance Information

和歌山県職員労働組合/和歌山市職員互助会/和歌山県農協連専属提携/和歌山大学生協専属提携/県立医科大学生協専属提携/近畿大学生物理工学部指定/高野山大学専属指定/和歌山信愛大学専属指定/東京医療保険大学和歌山看護学部専属指定/和歌山信愛女子短期大学専属指定/宝塚医療大学和歌山保健医療学部/和歌山リハビリテーション専門職大学/県立高等看護学院/大原学園和歌山校/和歌山コンピュータービジネス専門学校/和歌山国際厚生学院/和歌山英数学館/和歌山YMCA国際福祉専門学校/和歌山口頭美容専門学校/IBW美容専門学校（順不同）

セグメント別実績（土地有効活用事業）

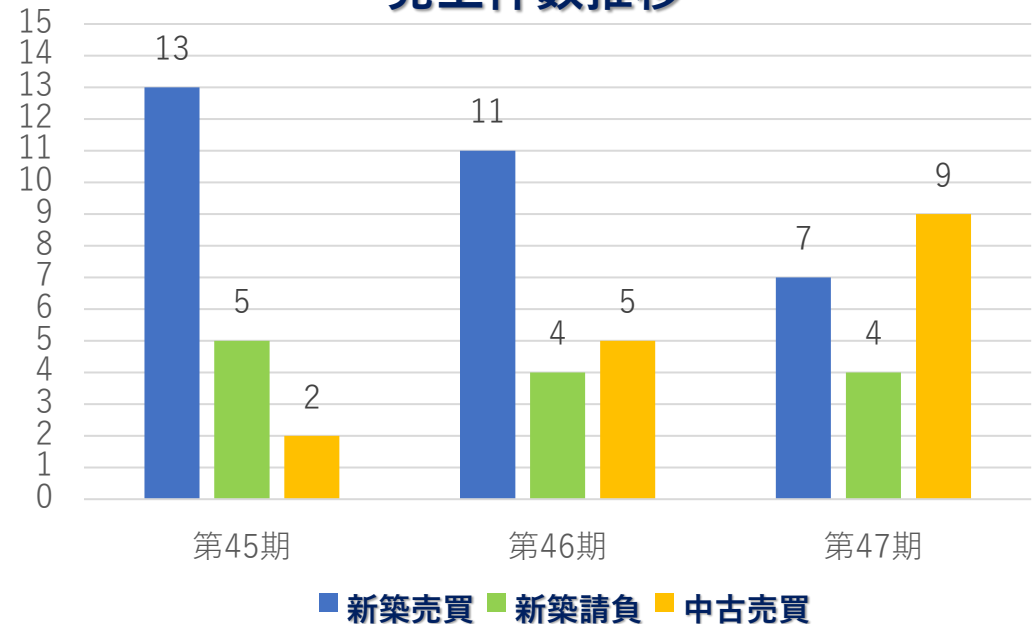
売上高・売上件数
売上高



セグメント売上高 588百万円
(前年同期比89.9%：予算比116.6%)

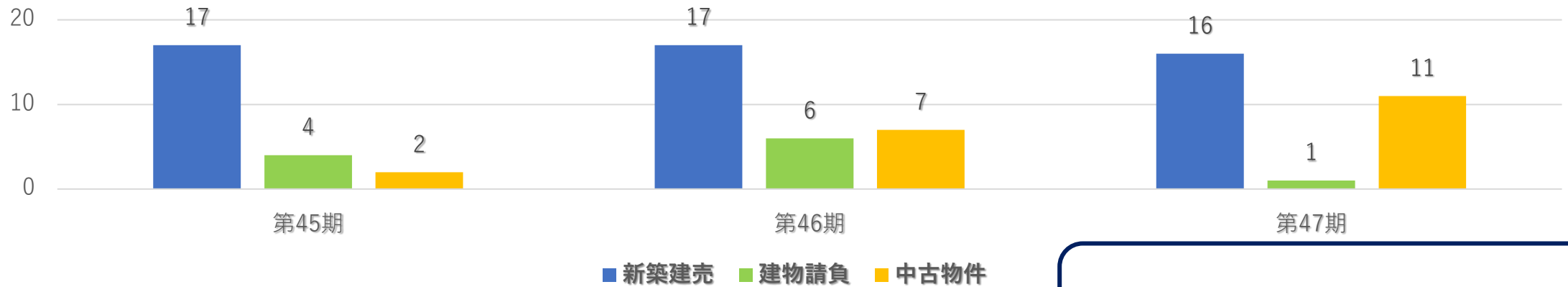
セグメント利益 66百万円
(前年同期比107.6%：予算比194.1%)

売上件数推移



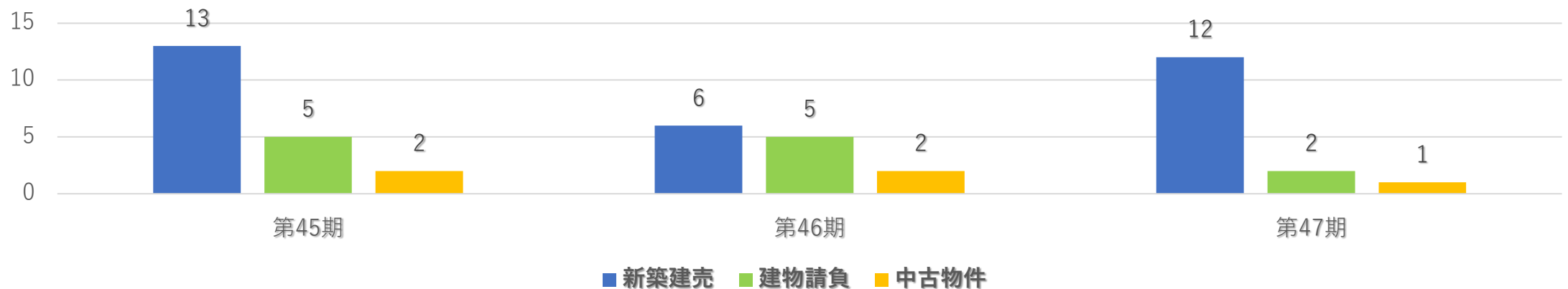
セグメント別実績（土地有効活用事業）

受注件数の推移

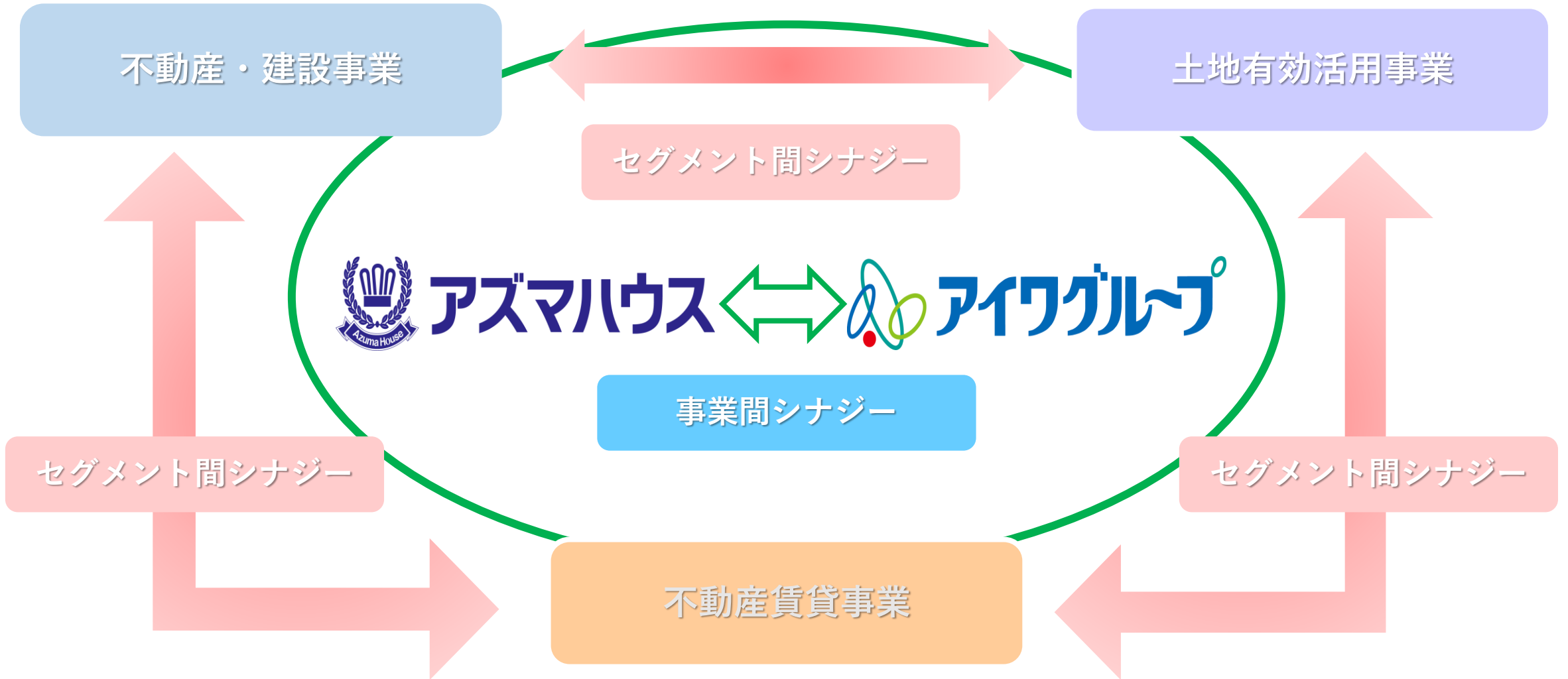


受注残額は、前年比166.9%

受注残件数の推移



セグメント間シナジー



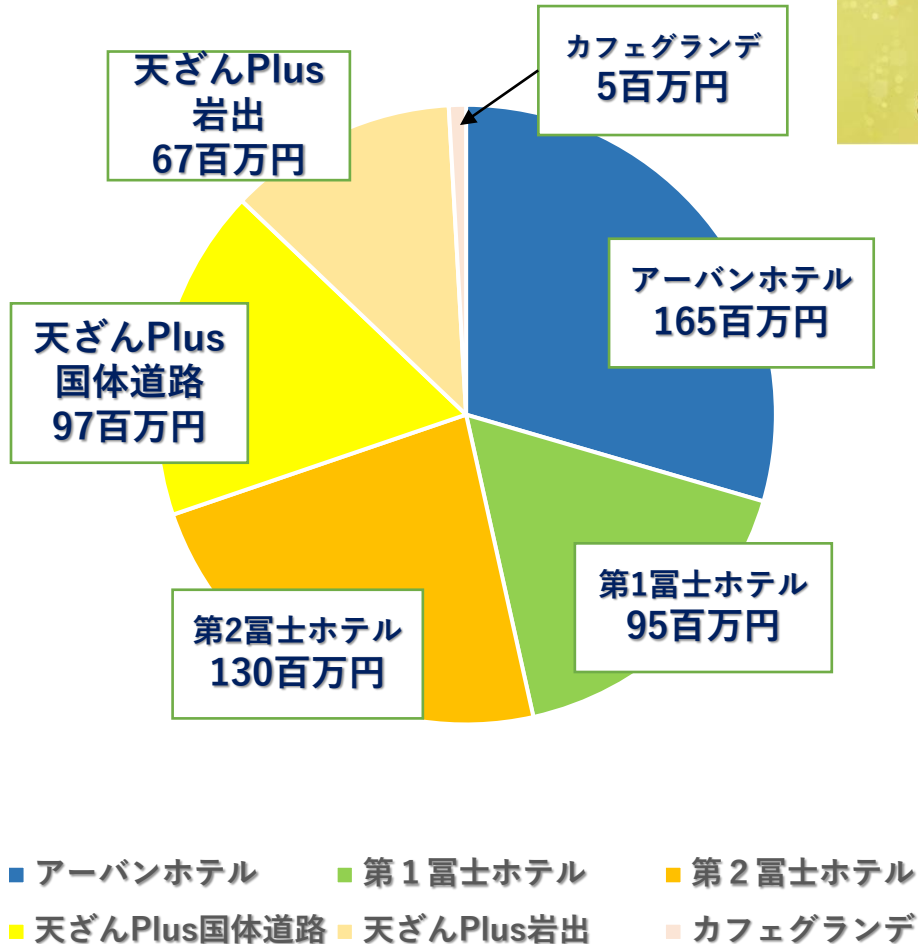
セグメント別実績（ホテル事業）

セグメント売上高 561百万円
 （前年同期比106.7%：予算比100.5%）

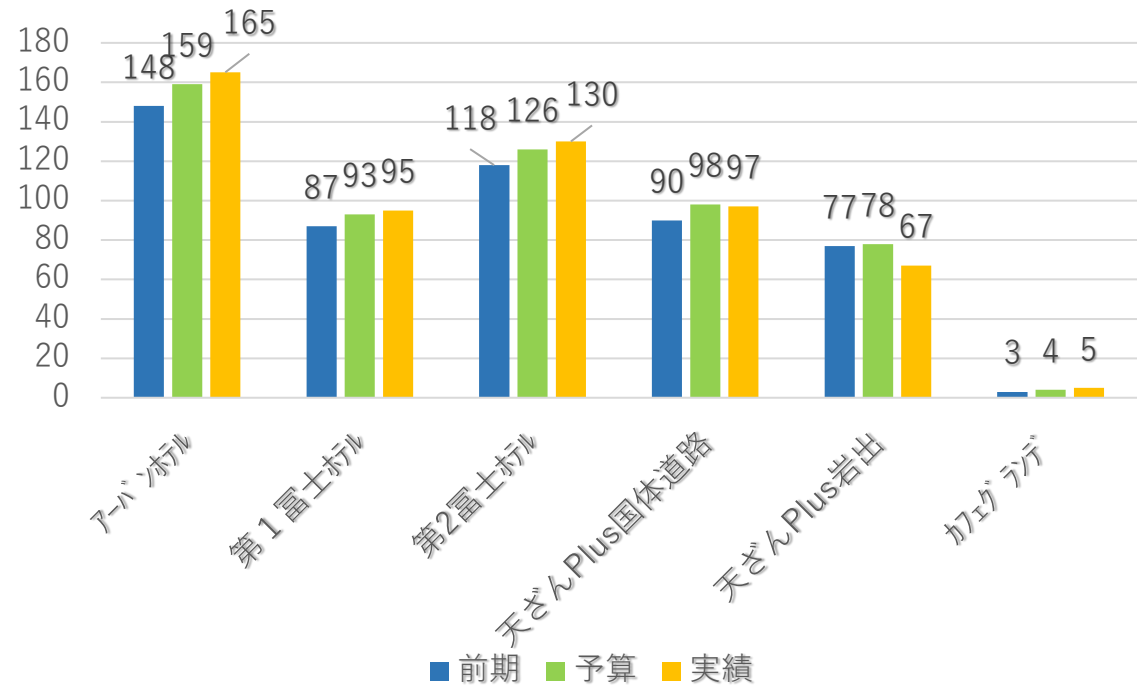
セグメント利益 86百万円
 （前年同期比198.6%：予算比182.97%）




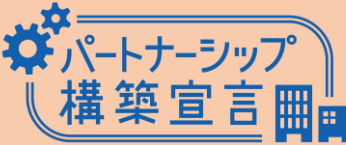






売上高



前年同期・予算比較（単位：百万円）



ESG	マテリアリティ	取組テーマ	取組内容	SDGs
 <p>Environment</p>	<p>住み続けられるまちづくり</p> <p>住環境の向上</p>	<p>リノベーションによる長く住み続けられる家づくりを通じて、社会課題となっている空き家増加の解決に取り組み、住み続けられるまちづくりに貢献</p> <p>高水準な性能等級を有する住宅の建築やリノベーションなどによる性能向上を通じて住宅の耐震性能、省エネ性能、断熱性能を向上し、環境にも健康にもやさしく、長く住み続けられる家づくりを实践</p>	<p>中古住宅再生事業、ストック事業の推進</p> <p>耐震等級3レベルを実現した地震に強い家づくり、環境にやさしい太陽光発電付建売住宅の販売促進、断熱性向上によるヒートショック等の健康被害防止</p>	
 <p>Social</p>	<p>地域社会への貢献</p>	<p>地域社会の活性化に関連するイベントなどを通じ、雇用の促進や青少年育成のための支援活動を積極的に取り組み、持続的な地域社会の構築に貢献</p> 	<p>子ども食堂の運営、学童軟式野球大会の特別協賛、全日本ドッジボール選手権和歌山県大会の特別協賛、一般社団法人和歌山県サッカー協会オフィシャルスポンサー、地元採用イベントへの参加、日本赤十字社の活動支援、特定非営利活動法人国連UNHCRの活動支援、公益社団法人ユニセフ協会支援、パートナーシップ構築宣言、宇宙事業及び宇宙教育活動への支援、ドリームデイ・アット・ザ・ズー2023inアドベンチャーワールドの協賛、和歌山大学ソーラーカープロジェクト（BWSC2023）への支援</p>	
 <p>Governance</p>	<p>人権</p>	<p>ハラスメント禁止や働き方改革の实践により生産性向上を図りながら働きやすい職場環境づくりの取り組み</p> 	<p>「わかやま健康づくりチャレンジ運動」への参加、「健康経営優良法人2023（中小規模法人）」の認定、男性・女性社員にかかわらず育児休業を取得できる体制づくりと推奨、小学校就学前の子を養育する社員の時間短縮勤務、半日単位での有給休暇制度の整備、一般事業主行動計画の策定、コーポレートガバナンス、コンプライアンス</p>	

記載情報について

- ・本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- ・将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識されたうえで、ご利用下さい。
- ・本資料は、投資家の皆様がいかなる目的に利用される場合においても、お客様自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ
アズマハウス株式会社 経営企画部
電話 073-475-1018
E-Mail : ir_kanri@azumahouse.jp
URL : <https://azumahouse.com>